



原材料の高騰を受けた製品販売価格の引き上げに素早く対応したことや採算重視の受注が奏功し、2023年度は業績目標を達成できそうだ。

24年度も原材料価格の上昇

前田道路

今泉 保彦社長

などの不安要素はあるが、前年度以上の目標を設定してさらに飛躍したい。

4月から適用される時間外労働の罰則付き上限規制には、振り替え休日を適切に取得することで完全週休2日を目指していく。業務の効率化に向けて基幹システムの変更を行っており、ICT施工にも引き続き力を入れていく。脱炭素関連の取り組みも強化する。二酸化炭素(CO₂)排出量を低減できる中温化アスファルト混合物の製造装置は、全合材工場の約6割以上に設置済みだ。合材工場を含む全事業所にRE100対応の電力の導入を予定している。広島県に設立した子会社イオマス燃料の製造・販売を本格稼働したが、今後は西日本だけでなく幅広く展開したい。

100周年控え事業基盤強化

い。水素燃料を使った合材製造の実証実験も茨城県土浦市の技術研究所で進めている。主力の道路舗装事業と製品販売事業に加え、道路包括管理などPPP/PFI事業については、今後も前田建設のコンセッション(公共施設等運営権)に関する知見を活用し拡大したい。

25年3月には創立100周年を迎え、大きな節目の年となる。これからの100年に向けて、さらなる事業基盤の強化を図りたい。

